



板垣力への
自縛拘束才十二
↓脱出失敗？無限絶頂漸



成人
FOR ADULT ONLY
指定

ここワイルドハント
芸術学院には
七不思議がある

ホーホ

ホホ

そのうちのひとつが
夜な夜な少女の嬌声が
聞こえるというものだ

オオオオ

この学院にはさまざまな部屋があり
その中でも寮監隊に
見つからない部屋がある

その情報からオカルトめいたものを
感じミヨを頼りに謎に迫った

その結果…
ひとつのカギにたどり着いた

ガキヤ

ガッ
イイイ

ミヨから手に入れたこのカギで
入った部屋には――

他の箱にまじって
やけに真新しい大きな桐の箱があった

その箱だけダイヤル錠で
施錠されていたため

チャリ

私は強く興味を
惹かれた

イヒッ♡

すー

三桁…総当たりで行けば
解錠できない数字ではないが…

イヒッ…こういうのは
感が大事だよねえ…

カチ

カチ

カチ



自分の部屋番号が
ちょうど三桁…

単に遊びだった
本当にそれだけだったのに…

イヒッ
そんな分かりやすい
数字してるとか

不用心だねえ…
どれどれ…



…これは…



懐かしいねえ...



前世で私と先生は主人と使用人の関係であり

もちろん肉体的な関係も含まれていた

しゅるっ

トッ

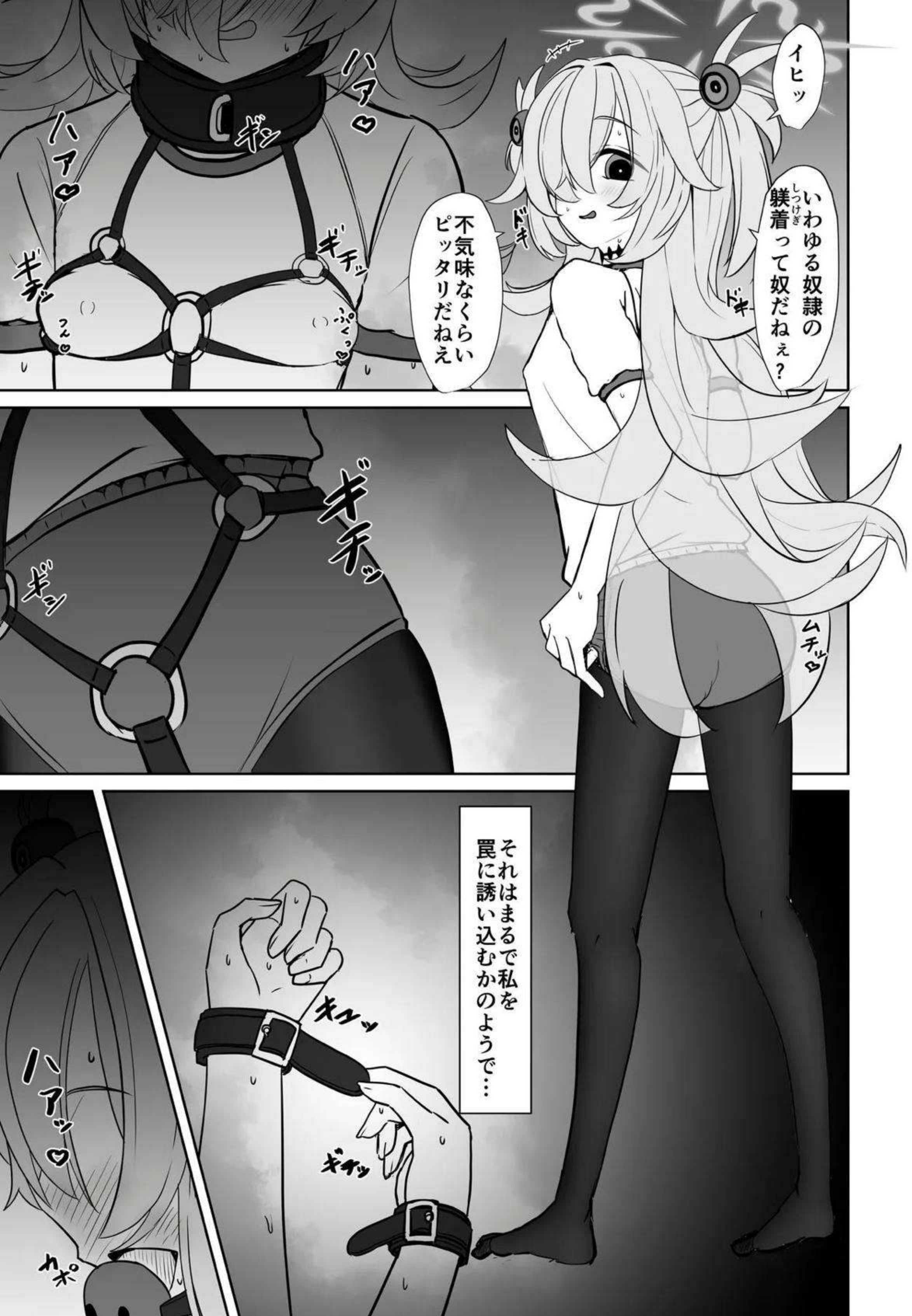
プチッ

シ/216



前世では先生とこういうイケナイアソビをたくさんしたねえ

ギョッ



イヒッ

いわゆる奴隷の
しつけぎ
躰着って奴だねえ？

不気味なくらい
ピッタリだねえ

ギチッ

ムチッ

それはまるで私を
罠に誘い込むかのようで…

キュッ

ギギッ

ハァッ♡

わぁ

気がつけばこの卑猥な拘束具を身につけてしまい身体が言うことを聞いてくれずどんどんと進んでいく…

後は—

片方の手枷を腰の後ろのナスカンにおしつけ

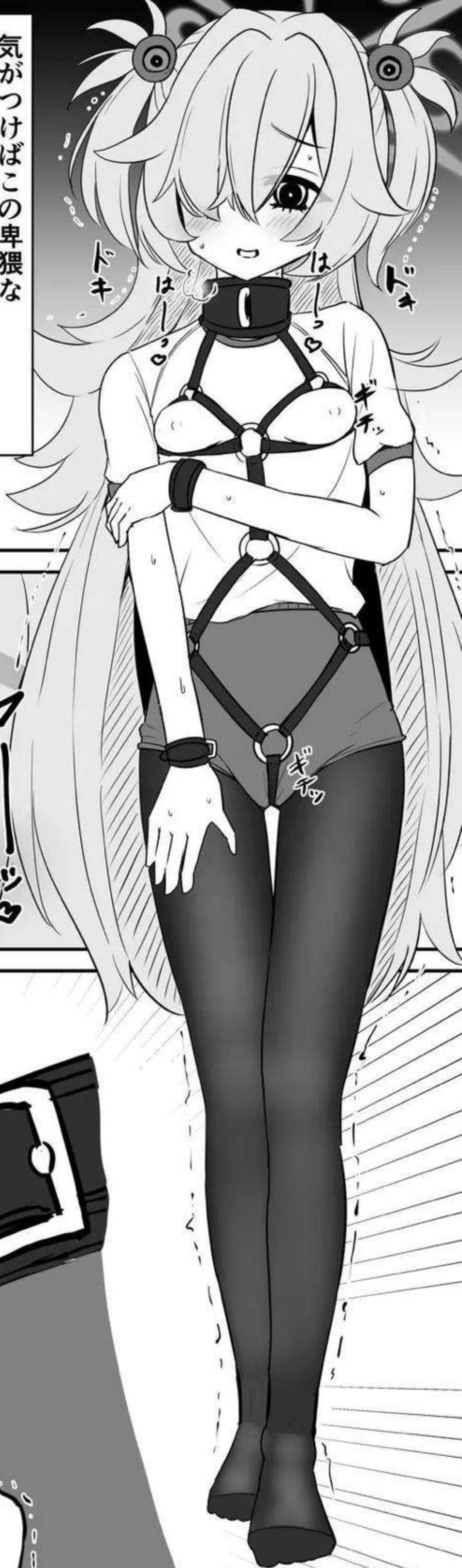
ドキ

もう一方も同じように押しつけたら…

ドキ

ドキ

カチン



言う事をきかない
いやらしい奴隷に

お仕置きができるように
なっている

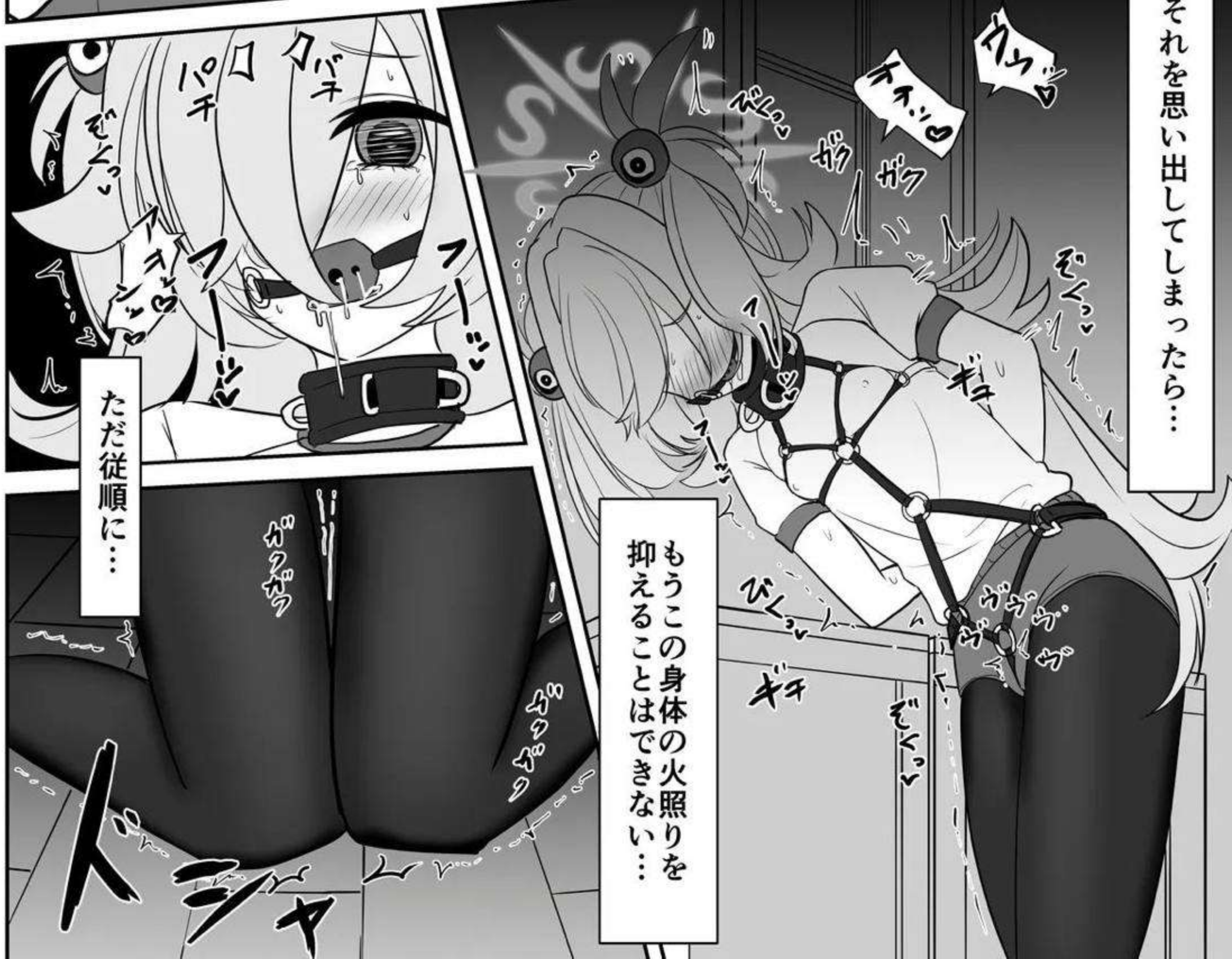
前世のときもこうやって先生に調教され
玩具で捌られていた記憶がある



それを思い出してしまったら…

もうこの身体の火照りを
抑えることはできない…

ただ従順に…



妄想の主に許しを請う

奴隷を演じる

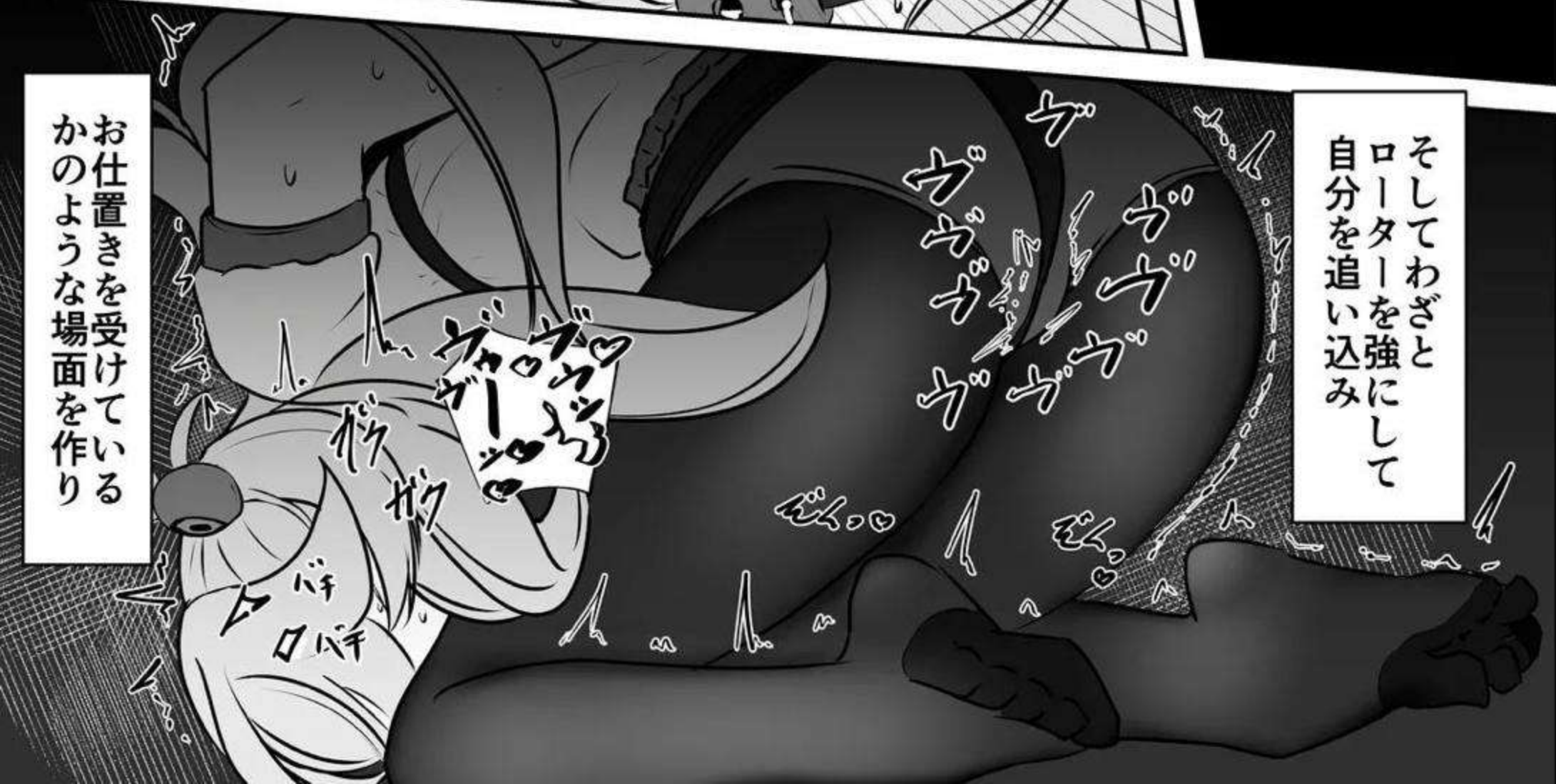
ウウウッ♡
ご主人様♡

ウウウッ♡
許して♡



そしてわざと
ローターを強にして
自分を追い込み

お仕置きを受けている
かのような場面を作り





絶頂する

それは自分で自分を
調教する行為だった



いったせいか体操服ごしに
張り詰めた乳首がこすれるだけで
軽く甘イキしてしまう



もっとももっとこの快楽を
貪りたいが連続でいくのは辛いから

少し休憩しよう



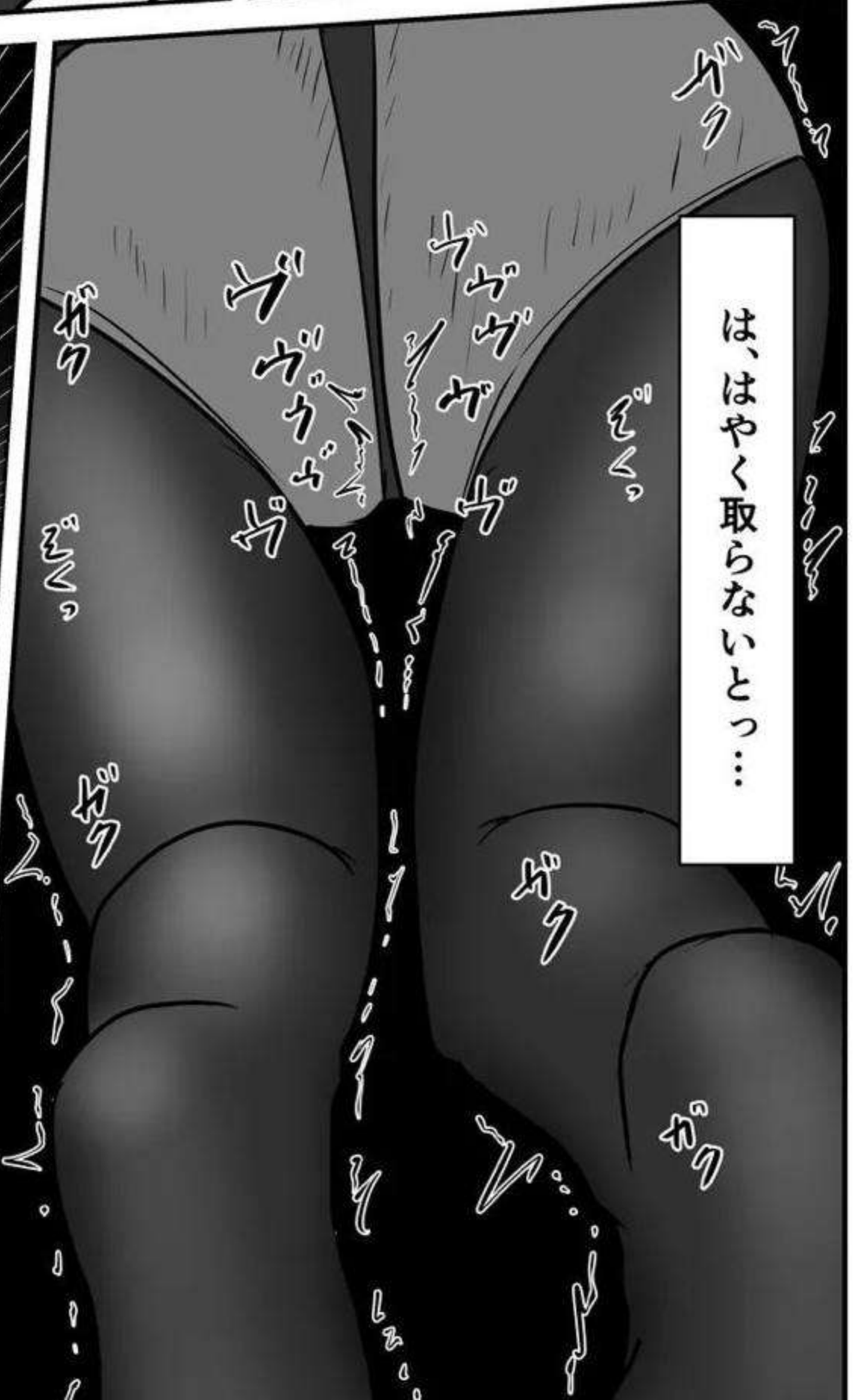
あれ…？



なんかうまく
取れないっ…



は、はやく取らないとっ…





思わず身の危険を感じて



ローターのスイッチを
切ってしまった...



一瞬だけど私が
恐怖を感じたのだ



もしも...

もしも本当に...

本当にとれなくなってしまうたら
どうなっていたか...

前世のときは調教のときも
先生がそばにいてくれたから
安心感があつた

だけれど…

今日は…

もっと…

もっと気持ちよくなりたい…

先生にいいてほしい…

石が坂を転がり始めたら
もう止められない…



自由を捨てて
隷属の証を自分から
欲しがるなんて

どうかしてる…



正常な思考なら
そう思うかもしれない

だけど私には
考える余地などなく



無我夢中になっていた

もっとスリルがほしい…

フホー



一度ごちそうに
ありつけたのに

それを捨てるなんて
とんでもない



ヤラ



ハァー♡

ハァー♡

カ
チ

ン

ハ
ァー♡

ハ
ァー♡



まだ戻れる…

チ
ヤッ

戻れるのに…

チ
キキ…

やった…

やってしまった…



これで…もう…

このままっ…

錠が解けない限り





(許してっ♡)

先生っ♡

ダメだよカノエ
我慢して

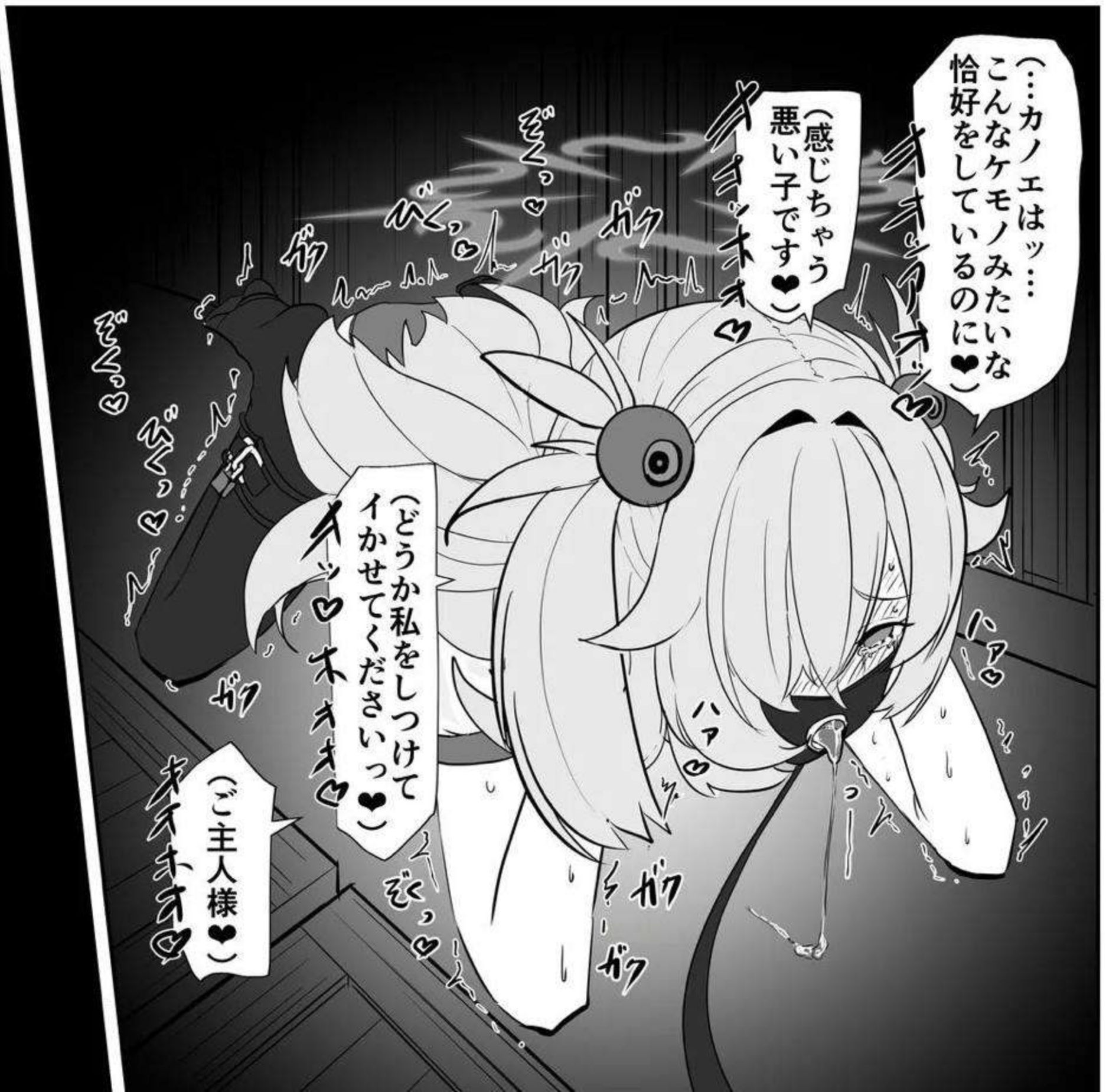
(そ、そんなあ♡)

オオオオ

ガマンガマン

(おねがいっ…♡)

…仕方ないなあ
カノエは…
じゃあおねだり
できるよね？



(…カノエはッ…
こんなケモノみたいな
恰好をしているのに♡)

(感じちゃう
悪い子です♡)

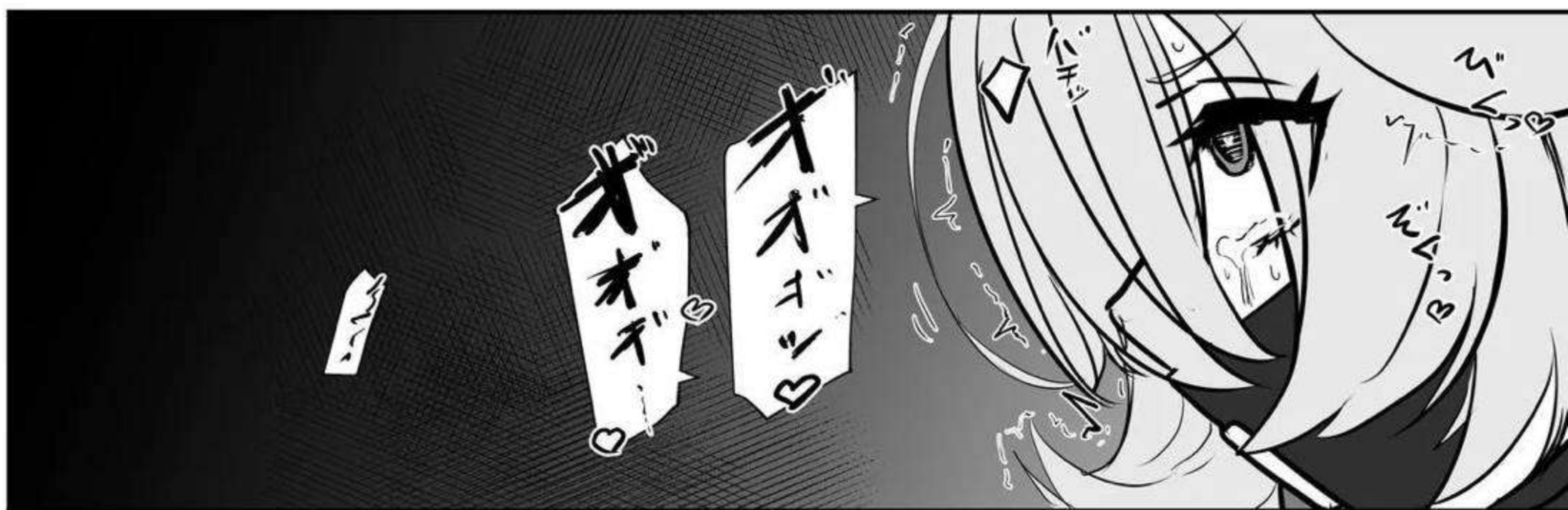
(どうか私をしつけて
イかせてくださいっ♡)

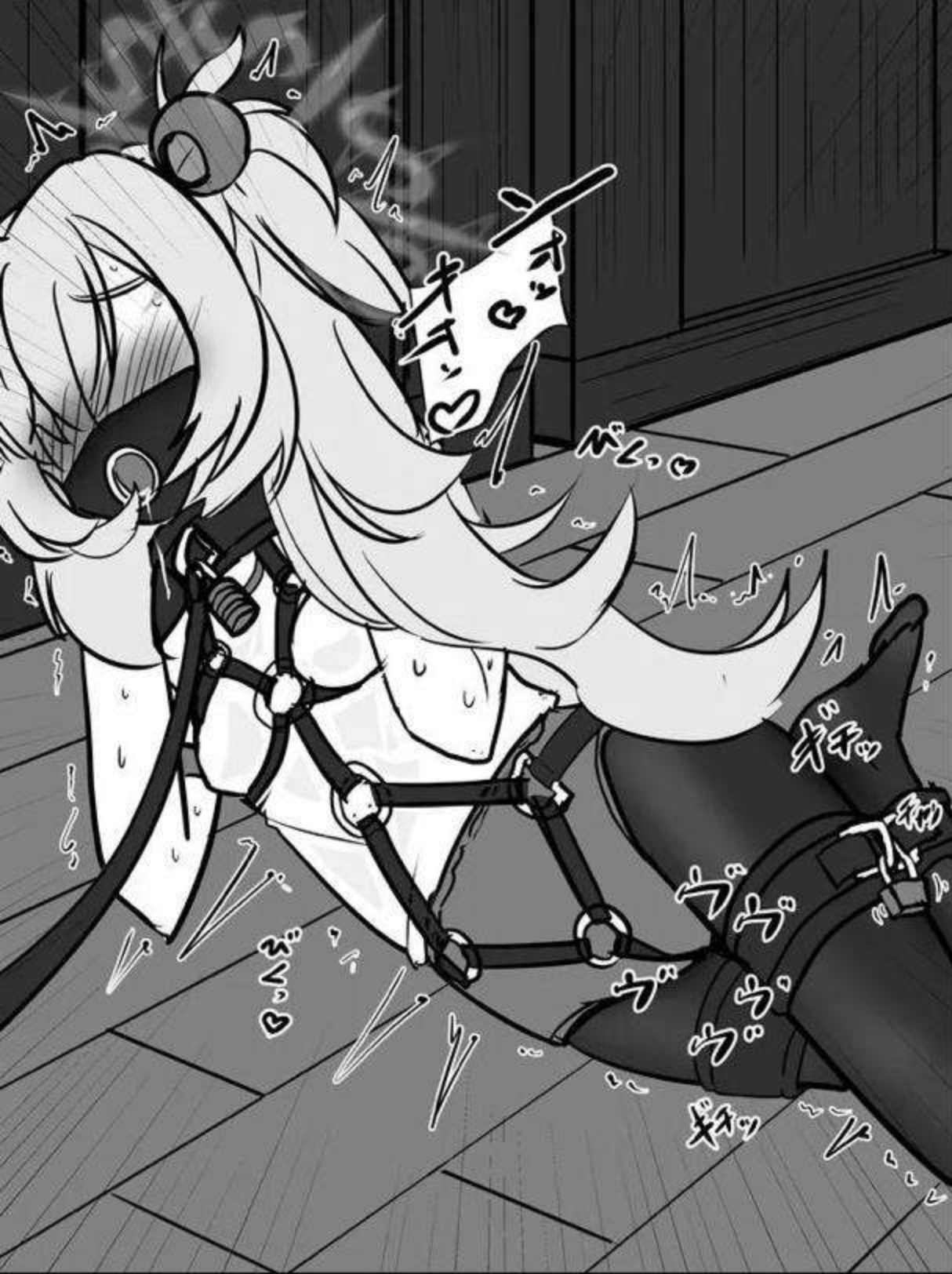
オオオオ

(ご主人様♡)

オオオオ

いい子だねカノエ…イっていいよ





あれ…私…



そうだ…拘束絶頂して
気を失ってたん…



や、やっちゃった…
リモコンのボタンをつ…!!

いい加減遊びすぎたから
そろそろやめないとねえ
寮監隊が感づいてちやう…



あ…あれ…このカギっ…
私の位置からだ…

番号が見えないッ…

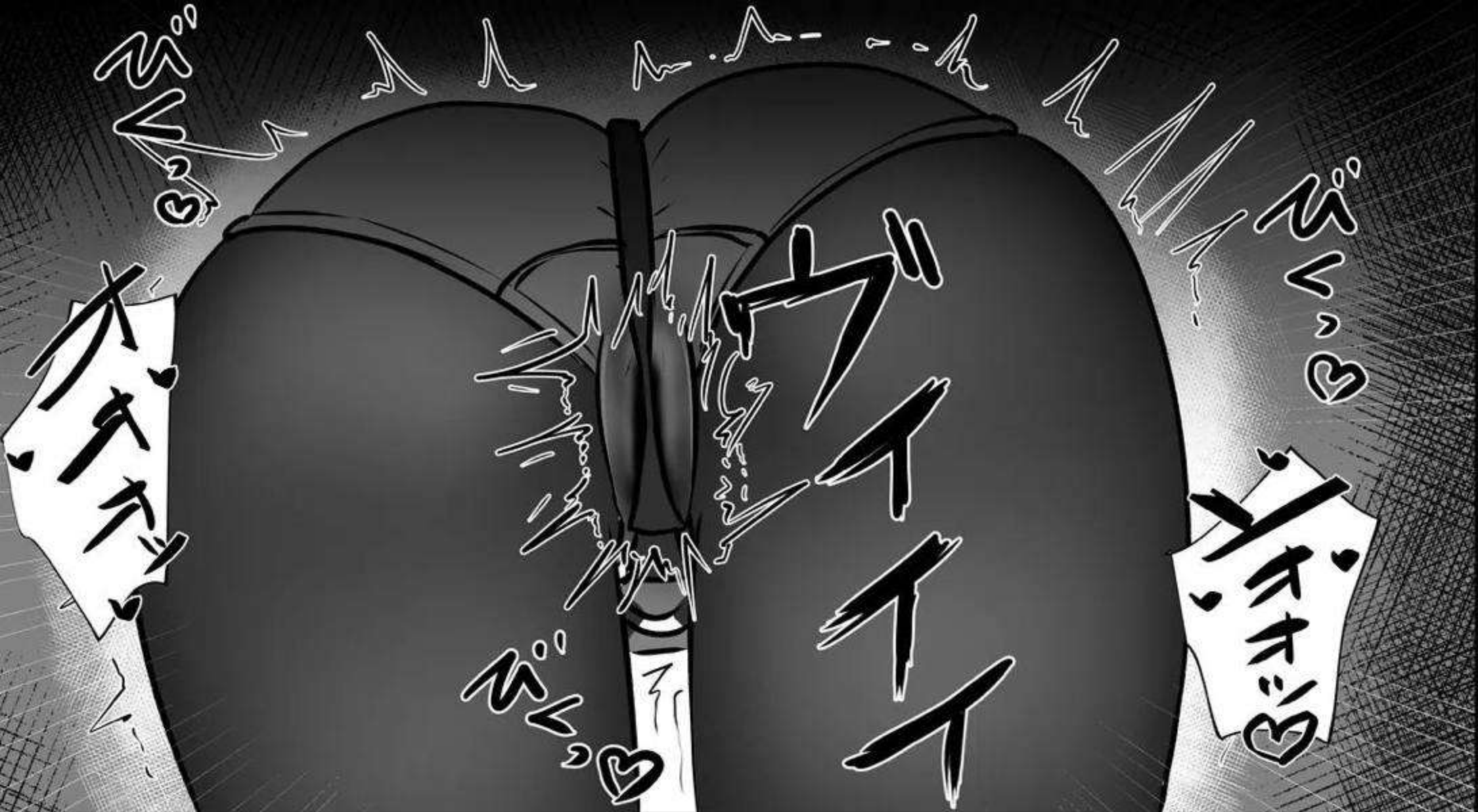
うそうそうそうそだっ…

私がこんなミス
するなんてッ…ッ

全部のカギが箱の中にあるのにッ…
ここのままだとマズイ…

いったんスイッチをっ…

ううっ…
うまく歩けないっ…



しまった…ッ

ローターの強さが
強につ…♡



は、はやくスイッチをつ…

リモコン…は…

あ、あんなところにつ…!!

こ、これじゃ取れないっ…



あッ…いつちやう!!

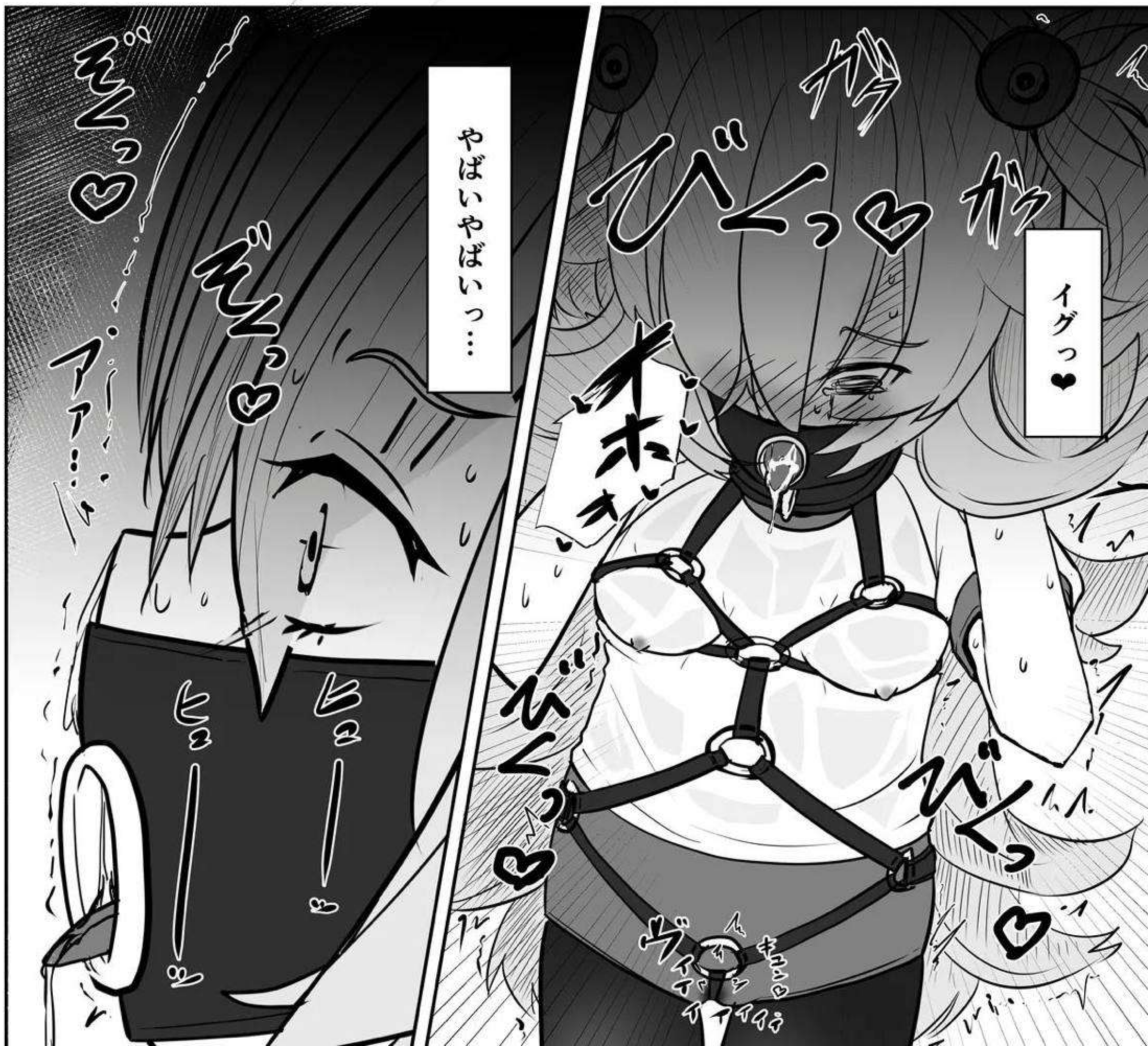
いくいくっ…ッ



やばいやばっ…

イグッ♡

びゅ♡ガッ

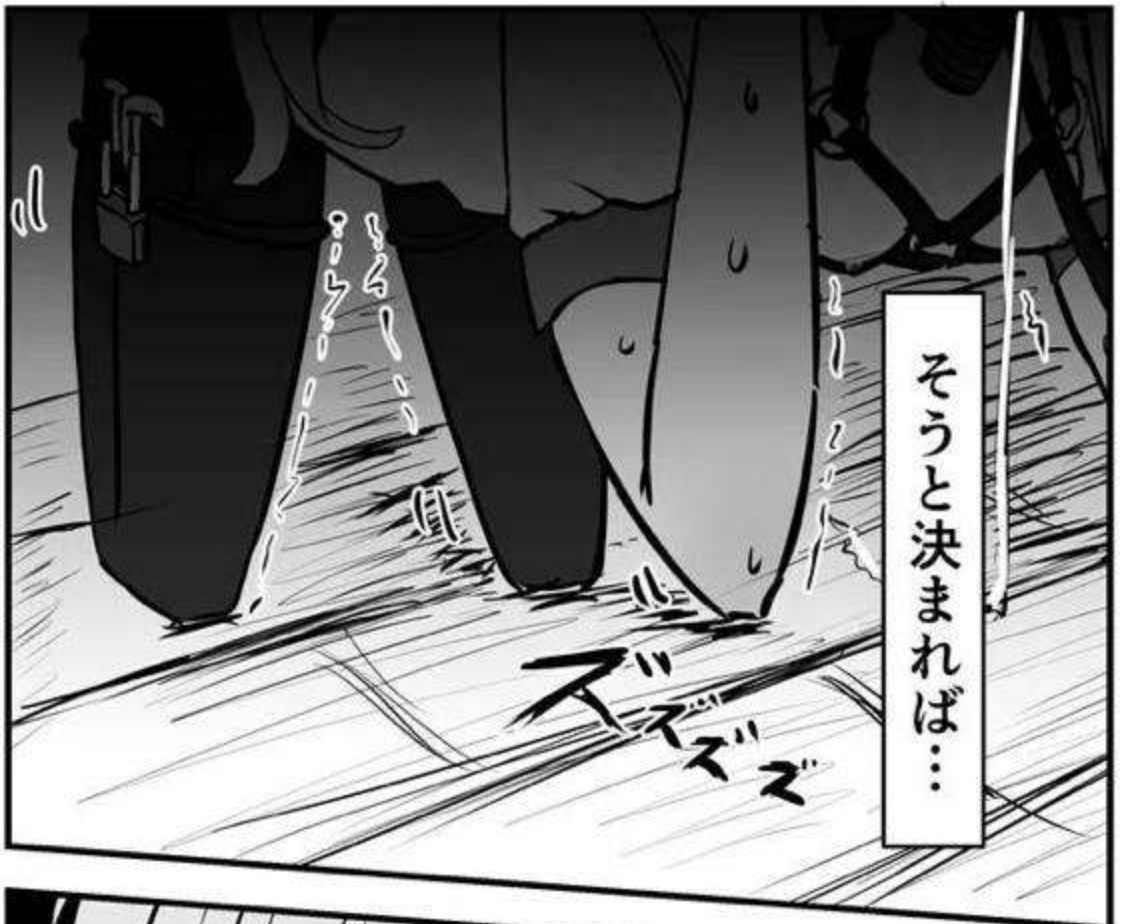


考えないと
考えないと…ッ



そ、そ、うだ箱の中に
カギがあるなら
無理やりこじ開けて
身体ごと入れば…

そうと決まれば…



気づいて
しまった



せ、先生っ…



先生っ…!!







こんにちは、初めましての方は初めまして。
イコイコ憩です。
このあとがきを書いている頃は
まだ修羅場の真っ最中だと思います。
妥協なく自縛漫画を作ったので楽しんでいただけたら幸いです。
今回はブルーアーカイブですが、いつもは男の娘ジャンルにいます。
是非に探してみてください。
本の一部になりたいくなかったら
決して真似をしないようにだけお願いいたします。
もともにもどれなくなりますので…。



表紙ボツ案
供養



成人向
OFFICIAL FAN BOOK



発行日：2025.12.30(コミックマーケット107.1日目)
発行者：イコイコ憩
連絡先：↓

X(旧Twitter)：@icoicoikoi



PixivID:63504006



印刷所：株式会社 日光企画